

宿泊プラン& イベントカレンダー

※ご予約、お問い合わせは、
TEL.0287-76-3180 までお願いします。



本館ロビー

秋のゴルフプラン 霞ヶ城ゴルフクラブ



日本最大級の木造クラブハウスを持つ、霞ヶ城ゴルフクラブ。那須の雄大な自然を贅沢に取り入れたコースです。お2人様でのプレーが大変お得になっております。

特典 ○下記特別料金にてゴルフ予約承ります。(料金は山水閣より予約した場合のみです。)
○アロママッサージ15%OFFチケット進呈

ゴルフ料金 11月末まで
○平日 7,800円 ○土日祝 12,800円
*ランチ付、2B割増なし

旅シリーズ 行く会津街道

It goes in the Aizu highway

秋の尾瀬ハイキング

前回夏の尾瀬ハイキングでは大変好評をいただきました。ぜひ秋もというリクエストにお応えしました。お二人で、家族で、お友達同士で、紅葉の尾瀬ハイキングぜひご参加ください。



「当日午前中は雨模様でしたが、晴れ間ものぞき、尾瀬沼、燧ヶ岳と見ることができました。とても楽しい日でした。」と、夏のハイキングにご参加いただきました、横手様。

※木道が整備されているとはいえ、1,300mほどの標高があります。トレッキングシューズ、雨具、上着などのハイキングスタイルの準備をお願いします。

9

女性限定プラン

9月~11月
宿泊のみならず、全て女性の場合にご利用いただけるプランです。

特典
○館内利用券 1組 2,000円
○アロママッサージ15%OFF
チケット進呈
○チェックアウト 12時



アロママッサージ

家族プラン

9月~11月
ご家族4名様以上でご利用いただけるプランです。

特典
○館内利用券 1組 2,000円
○ケーキサービス
○チェックアウト 12時
○アロママッサージ15%OFF
チケット進呈

10

記念日プラン

9月~11月
誕生日、結婚記念日のご旅行でご利用いただけるプランです。(ご利用前後、2週間の記念日が対象となります)

特典
○ケーキサービス
○チェックアウト 12時



記念日プラン、家族プランのケーキ(一例)

秋のマタニティプラン

9月~11月
妊婦さんを含むご家族でご利用いただけるプランです。

特典
○館内利用券 1組 2,000円
○貸切風呂
15:00から1時間おとりいたします
○アロママッサージ
マタニティプラン割引

ラウンジ 206

くらやみ朗読会 9月26日

演劇作家、小説家の岡田利規さん(『三月の5日間』で第49回岸田戯曲賞を受賞)と小説家、山崎ナオコーラさん(『人のセックスを笑うな』で第41回文藝賞を受賞)による朗読会を開催します。普段、朗読はやっておられないお二人。ファンならずとも必見です。(お得なチケット込み宿泊プラン承ります。詳しくはHP予約ページをお願いします)



もみじカフェ 10月~11月 ▶

15:00~17:30(毎日オープン)
色づく木々に囲まれたテラス席で、エスプレッソマシンでお入れた特製カプチーノをお召し上がりください。

那須の語り部と

九尾太鼓の夕べ 10月23日

那須に代々伝わる民話を、語り部の独特な話法でお届けします。また九尾狐の伝説を壮大な太鼓で表現した九尾太鼓をお楽しみください。

特別料理

9月~11月
舞茸の天ぷら 1,500円
天然舞茸をカラッと揚げたてでご提供します。



9月~11月
塩煎り銀杏 800円
銀杏を一番おいしく感じられる塩煎り。ビール、焼酎によく合います。



秋の尾瀬ハイキング 連泊プラン

ご旅行2日目に当館スタッフが、お車で尾瀬までご案内いたします。ご料金 1組 15,000円
1日限定1組4名様までとさせていただきます。

特典 ○宿泊料 1泊分 30%OFF!
○アロママッサージ15%OFFチケット進呈
○お部屋の冷蔵庫に、お飲み物をご用意いたします。

日程

初日 山水閣チェックイン
2日目 7:00 山水閣出発(当館お車でご案内いたします。)朝食としておにぎりをご用意します。途中、道の駅等に立ち寄り。9:30 檜枝岐、御池着(ご希望により尾瀬沼コースに同行いたします)シャトルバスで沼山峠へ
10:00 尾瀬散策
14:00 沼山峠よりシャトルバス
14:30 檜枝岐、御池発
17:00 山水閣着
3日目 山水閣チェックアウト



秘境の蕎麦を求めて 会津、山都そばと 天地人歴史散歩

蕎麦を食べに行く。ただそれだけ。途中立ち寄りところもない。目的が蕎麦しかない、そんな究極の旅。

やっと思いで山都町内にたどり着き、さらに山道に行く。ちょっと前までは対向車とすれ違えないほどの道だった。宮古集落。全戸数30のうち、12戸が客間を開放した「農家食堂」になっている。とはいえ、出ているのは蕎麦だけ。あとは地の野菜。名物は「水そば」「塩そば」1、2杯目は蕎麦を水、塩だけで食べるという。蕎麦そのものがストレートに伝わってくる。うまい。3杯目はつゆをつけて食べるのだが、水、塩の味が忘れられない。「おかわりもってくるかね。」87歳のご主人が声をかけてくれる。もちろん甘える。無骨ながらもてなしの心が伝わってくる。気が付くと店にきてから1時間半もたった。この場所へ人がやってくる理由が少しだけわかった気がする。蕎麦しかない、しかし蕎麦だけじゃないのだ。ぜひ体験してほしい旅だ。



一面に広がる蕎麦畑。

山都そば



田舎のおばあち家に来たよう。



旬の地のものが蕎麦の前にいた



水そば、蕎麦の伝説



87歳のご主人、



慣れた手付き、おばあちゃんもう